

介護事業部 ヘルパーセンター 好事例シリーズ⑦

「通所にまつわる心配事を
解決したところ、デイサービス
を休まず行けるようになった」

～事例分類～

健康状態 / 理解・行動 / ADL /

家事・IADL / QOL / 介護状況

ヘルパーさんとのかかわりが
どんな変化をもたらしたのか、
読んでみるまも♪



スライド全5枚

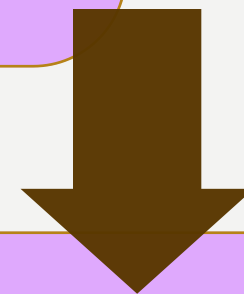
【事例情報】

○80歳代 ○女性 ○要支援2

【Before】令和2年11月頃

デイサービスを休みがちで入浴ができていなかった。ヘルパーが通所を促すと「今度行きます」と返事はするものの、行くことができなかった。入浴ができていないので居室内は皮膚片が落ちて白くなっており、週1回の掃除では足りなくなっていた。


排せつのコントロールの心配があることがデイサービスを休む一因になっているのではと推測し、自宅から近いデイサービスへの変更を促すも、「いままでのところに行くからいい」との返事で話が一向に進まなかった。



【After】令和3年3月頃

排せつのコントロールや通所にかかる事前準備など、通所にまつわる心配事を解決したところ、**休まずデイサービスに行けるようになった。**

経過

阻害要因・背景	サービス・ケア内容	サービス提供のねらい
排せつのコントロールがうまくできず、デイサービスに通っている途中で失敗することが怖い。	紙パンツがなくなったときにすぐに補充できるよう、買い物代行	紙パンツを切らさないようにすることで失敗した時の気持ちや身体的負担の軽減
デイサービスの利用時間が長かったうえ、自分のタイミングでトイレに行きたくても職員の介助が必須であることが煩わしく感じていたため、デイサービスに行くこと自体が億劫になっていた。結果入浴する機会も奪われてしまった。	利用時間が短いデイサービスに変更するように働きかけた。 	利用時間が長いという本人にとっての負担要因を排除することで確実に通所できるようにし、入浴、リハビリ機会を保つ。
変更後のデイサービスは以前のデイサービスに比べて事前準備について指定が多く、本人一人では難しかった。	デイサービスの準備をケアプランに入れていただき、訪問介護サービスとして対応した。	準備にかかる本人の負担が軽減でき、躊躇なくデイサービスに行ける。

事例提出者からのアピールポイント

項目	内容
継続的にデイサービスに行けるようになった。	3か月デイサービスを休んでいた利用者がヘルパーの気づきや働きかけ、支援によりデイサービスを変え、休まず行けるようになった。

💡事例へのコメント💡

休みがちになっていたデイサービスに、また行けるようになった事例ですが、普段からサービス提供をしている担当ヘルパーとご利用者様との信頼関係が成した好事例であると推測します。また、「**デイサービスを変更する**」という**現状に即した対応**についてもポイントが高いと思われ、慣れ親しんだデイサービスを変更することは簡単ではなかったと思われそうですが、日頃より常にサービス提供責任者との連携をしっかりと行っている体制があったからこそその結果であると思われそうです。

デイサービスを担当している者として、利用者様がいつも笑顔で利用されている裏には、このようなご苦勞があったからであると、改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございました

【札幌市社会福祉協議会 施設福祉部】



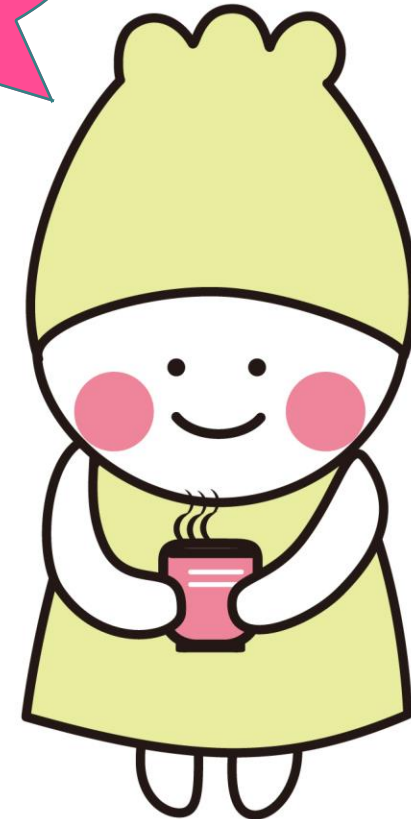
私たちと一緒に 働きませんか♪

お友達を紹介して
ほしいまも

ヘルパー募集のご案内はこちら！



社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
介護事業部



まもりん